

3月議会でも市民の命と暮らしを守る質問を展開しました 議員の一般質問



核兵器禁止条約の批准と雪対策の強化求める

橋爪法一議員

「豪雪そのものが災害である」との認識が基本だ
豪雪対策で橋爪議員は
要「豪雪そのものが災害である」との認識が基本だ

要「豪雪そのものが災害である」との認識が基本だ

豪雪対策で橋爪議員は

橋爪議員は、ロシアのウクライナ侵略と平和政策、地域分権のあり方、そして豪雪対策について
「このうち、平和政策では、市長は『平和首長会議国内加盟会議や日本非核宣言自治体協議会を通して、核兵器禁止条約の批准を政府に対して強く求めている』と答えました。

「豪雪そのものが災害である」との認識が基本だ
豪雪対策で橋爪議員は
要「豪雪そのものが災害である」との認識が基本だ

要「豪雪そのものが災害である」との認識が基本だ

豪雪対策で橋爪議員は

橋爪議員は、ロシアのウクライナ侵略と平和政策、地域分権のあり方、そして豪雪対策について
「このうち、平和政策では、市長は『平和首長会議国内加盟会議や日本非核宣言自治体協議会を通して、核兵器禁止条約の批准を政府に対して強く求めている』と答えました。

「豪雪そのものが災害である」との認識が基本だ
豪雪対策で橋爪議員は
要「豪雪そのものが災害である」との認識が基本だ

要「豪雪そのものが災害である」との認識が基本だ

豪雪対策で橋爪議員は

橋爪議員は、ロシアのウクライナ侵略と平和政策、地域分権のあり方、そして豪雪対策について
「このうち、平和政策では、市長は『平和首長会議国内加盟会議や日本非核宣言自治体協議会を通して、核兵器禁止条約の批准を政府に対して強く求めている』と答えました。



子ども医療費と給食の無料化求める

平良木哲也議員

平良木哲也議員は、医師不足が指摘されている上越の地域医療を守ることにともに、子育て支援の拡充の道筋を明らかにするよう求めました。
このうち、地域医療問題では、市長は柿崎病院を確実に守る決意を表明しました。

子育て支援の

ロードマップは

平良木議員は子育て支援に関し、「市長は『子育て全国一を目指す』としており、多くの市民の心強い励みになっている

「子ども医療費の完全無料化と学校・保育園の給食費の無料化については、必要な支援は講じているので、現時点で直ちに支
が、具体的にどう実現していくのか。特に18歳までの子ども医療費の完全無料化と、学校・保育園の給食費の無料化はどう考えているか。また、子育て支援全体の取組は、今後どのようなロードマップをもって進めていく考えか」とた
これに対して市長は、「子ども医療費の完全無料化と学校・保育園の給食費の無料化については、必要な支援は講じているので、現時点で直ちに支
が、具体的にどう実現していくのか。特に18歳までの子ども医療費の完全無料化と、学校・保育園の給食費の無料化はどう考えているか。また、子育て支援全体の取組は、今後どのようなロードマップをもって進めていく考えか」とた
これに対して市長は、「子ども医療費の完全無料化と学校・保育園の給食費の無料化については、必要な支援は講じているので、現時点で直ちに支
が、具体的にどう実現していくのか。特に18歳までの子ども医療費の完全無料化と、学校・保育園の給食費の無料化はどう考えているか。また、子育て支援全体の取組は、今後どのようなロードマップをもって進めていく考えか」とた

「子ども医療費の完全無料化と学校・保育園の給食費の無料化については、必要な支援は講じているので、現時点で直ちに支
が、具体的にどう実現していくのか。特に18歳までの子ども医療費の完全無料化と、学校・保育園の給食費の無料化はどう考えているか。また、子育て支援全体の取組は、今後どのようなロードマップをもって進めていく考えか」とた
これに対して市長は、「子ども医療費の完全無料化と学校・保育園の給食費の無料化については、必要な支援は講じているので、現時点で直ちに支
が、具体的にどう実現していくのか。特に18歳までの子ども医療費の完全無料化と、学校・保育園の給食費の無料化はどう考えているか。また、子育て支援全体の取組は、今後どのようなロードマップをもって進めていく考えか」とた



小規模事業者への支援拡大求める

上野公悦議員

上野公悦議員は、公共施設のあり方で、市民の要望が強い施設の存続を求めたほか、新型コロナウイルスの感染が拡大する中での小規模事業者への支援の拡大を求めました。
このうち、公共施設のあり方では、既報の通り市長は冷たい答弁に終始しました。

財政調整基金使用

支援拡大を

小規模事業者への支援では、上野議員は、「県による重点措置は解除されたが、長期間に及ぶ疲弊

から、関連事業者も含め、立ち直れないでいる。市はこれまでも事業者への支援を行ってきたが、今後さらに財政調整基金の一部を取り崩すなどして、支援を行うべきだがどうか」とた
これに対して市長は、「コロナ禍における市内経済の現状は、『上越市新型コロナウイルス感染症による経済状況情報共有会議』や事業者への聞き取りなどにより把握し、適宜必要な予算措置を

「コロナ禍における市内経済の現状は、『上越市新型コロナウイルス感染症による経済状況情報共有会議』や事業者への聞き取りなどにより把握し、適宜必要な予算措置を
援を拡充する考えはない。今後の子育て支援の取組については、『子育てプロジェクト』と連動する『子ども・子育て支援総合計画』に掲げる子育て家庭への経済的負担の軽減や多様な保育サービス提供、子どもの居場所づくりへの支援など、課題に対応した事業を鋭意推進しながら、安心して子どもを産み育て、地域全体で子育てを支える仕組みの強化に向けて、着実に取り組んでいく」と答えました。

日本共産党上越市議員団ニュース
No.748 2022年4月10日
連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
絡 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
先 平良木哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))

PCR検査等実施件数 (4月1日現在)	
PCR検査実施件数	28,338件(前週+698)
陽性件数	1,866件(前週+103)
抗原検査実施件数	15,582件(前週+652)
陽性件数	733件(前週+58)
上越市内陽性件数	2,103件(前週+129)

地域協議会への認識の相違くっきり

市議会総務常任委員会は3日、各区の地域協議会の会長と意見交換を行いました。その中では、会長によっても、また議員によっても、地域協議会に関する認識に相違があることが明らかになりました。この意見交換会に関しては、後日詳しく紹介します。